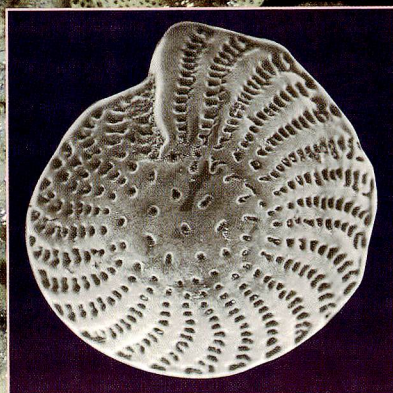


鹿児島大学南太平洋海域研究センター シンポジウム

有孔虫からみた環境と古環境

期日: 1998年2月28日(土) (13時-17時)

場所: 鹿児島大学稲盛会館



企画: 八田 明夫 (鹿児島大学教育学部)

北里 洋 (静岡大学理学部): 有孔虫はなぜ環境や古環境の指標として使えるのか?

Johann HOHENEGGER (Universitaet Wien): Larger Foraminifera - microscopical greenhouses indicating shallow water tropical and subtropical environments in the present and past

八田明夫 (鹿児島大学教育学部): 西太平洋における浮遊性有孔虫の分布と日周期運動

尾田太良 (熊本大学理学部): 海洋古環境の復元をめざして-浮遊性有孔虫からのアプローチ

野村律夫 (島根大学教育学部): 新生代地球環境の変遷と有孔虫

大木公彦 (鹿児島大学理学部): 鹿児島市は冷たい海の底だった-底生有孔虫化石から読み取れる氷河期の証拠

主催: 鹿児島大学南太平洋海域研究センター
〒890 鹿児島市郡元1-21-24 電話(099)285-7394